

2022年度実施選考試験向け

小・中学校教頭 論文

 沖縄教員塾

目 次

第1章 小・中学校教頭論文課題	3
1-1 必ず書きたい5テーマ	3
1-2 できれば書きたいテーマ	4
第2章 校長・教頭論文過去問	8
2-1 出題テーマ	8
2-2 過去問	13
第3章 校長・教頭論文過去問分析	33
3-1 分析表	33
3-2 チーム学校	34
3-3 魅力ある学校づくり	34
3-4 カリキュラム・マネジメント/教育課程の編成	35
3-5 働き方改革/業務改善/学校の組織運営体制等の見直し	36
3-6 教職員評価システム	37
3-7 教職員の資質・能力の向上/校内研修	38
3-8 教職員の人権意識の高揚	38
3-9 不祥事の未然防止/教職員の飲酒運転根絶/パワハラ・セクハラ等の未然防止	39
3-10 体罰	40
3-11 教職員のメンタルヘルス・教職員の心身の健康保持	40
3-12 家庭・地域との連携/保護者等の要望・要求/家庭教育・学校、家庭、地域の連携/保護者や地域住民の要望・苦情	41
3-13 学力向上/「問い」が生まれる授業/主体的・対話的で深い学び/指導と評価の一体化	42
3-14 キャリア教育の充実	44
3-15 体験活動	45
3-16 不登校	46
3-17 問題行動等	46
3-18 いじめ、暴力行為等の問題行動等	47
3-19 特別支援教育・発達障害・障害者差別解消法	47
3-20 情報モラル/ネット被害等の未然防止/ICT活用	48
3-21 安全管理/災害の危機管理	49
3-22 私費会計	50
3-24 その他(出題可能性あり)	51
3-25 その他(出題可能性なし)	53

第4章 論文の書き方	54
4-1 論文試験の概要	54
4-2 総論	55
4-3 効果的な構成法を身に付けよう	56
4-4 原稿用紙の使い方	57
4-5 句読点の使い方	57
4-6 文章の作り方	59
4-7 公用文における漢字使用等について	60
4-8 送り仮名の付け方	62
第5章 《参考》教員選考試験の過去問題	69
5-1 二次試験	69
5-2 三次試験	72
5-3 特別支援学校	74
5-4 養護教諭	75

3-10 体罰

2017年度実施小・中学校教頭長論文

小・中学校 教頭〈長論文〉	<p>本県において、平成28年度は教職員の不祥事が相次ぎ、学校教育に対する県民の信頼を大きく損なった。特に、体罰にかかる懲戒処分件数が多く、再発防止の取り組みが急務である。</p> <p>あなたは教頭として、体罰のない学校づくりのためにどのように取り組んでいくか。「体罰防止ハンドブック」(平成25年12月沖縄県教育委員会)を踏まえ、具体的に述べなさい。</p>
------------------	---

2014年度実施高等学校教頭長論文

高等学校 教頭〈長論文〉	<p>平成24年12月に、他府県において部活動中の体罰を背景とした高校生の自殺事案が発生し、教職員による児童生徒への体罰が大きな社会問題となっている。体罰防止に向けた指導体制の整備は喫緊の課題であり、本県教育委員会では、昨年12月に体罰の根絶と児童生徒理解に向けて「体罰防止ハンドブック」を発行した。</p> <p>あなたは教頭として、体罰の防止に向けた学校の体制づくりにどのように取り組んでいくか。あなたの学校の現状を踏まえ、具体的に述べなさい。</p>
-----------------	--

2013年度実施小・中学校校長小論文＝2013年度実施小・中学校教頭小論文

小・中学校 校長〈小論文〉	<p>平成25年1月23日付け文部科学省通知「体罰禁止の徹底及び体罰に係る実態把握について(第2次報告)」の調査結果(平成25年5月20日公表)において、本県の公立学校における体罰件数が153件となり、教職員に対する信頼が大きく損なわれている。</p>
小・中学校 教頭〈小論文〉	<p>あなたは校長(教頭)として、体罰のない学校づくりのためにどのように取り組んで行くか。平成25年3月13日付け文部科学省通知「体罰の禁止及び児童理解に基づく指導の徹底について」を参考にし、あなたの学校の現状を踏まえ、具体的に述べなさい。</p>

2018年度実施特別支援学校教頭論文②

特別支援学校 教頭	<p>平成25年12月に沖縄県教育委員会から「体罰防止ハンドブック」が発刊され、体罰の根絶と児童生徒理解に向けて、教職員のさらなる指導力の向上をめざすことが示されている。</p> <p>あなたは教頭として、体罰のない学校づくりをめざしてどのように取り組んでいくか。あなたの学校の現状を踏まえ、具体的に述べなさい。</p>
--------------	--

3-11 教職員のメンタルヘルス・教職員の心身の健康保持

2018年度実施小・中学校教頭論文

小・中学校 教頭②	<p>学校教育は、教職員と児童生徒との人格的な触れ合いを通して行われるため、教職員が心身とともに健康で教育に携わることが重要である。しかしながら、沖縄県公立学校教職員の精神疾患による病気休職者数は、依然として深刻な状況にある。</p> <p>あなたは教頭として、教職員のメンタルヘルスにどのように取り組んでいくか。あなたの学校の現状を踏まえ、具体的に述べなさい。</p>
--------------	---

2022年度実施選考試験向け(12月)

管理職面接

過去問

 沖縄教員塾

第5章 2018年度実施	20
5-1 小・中学校校長(1).....	20
5-2 小・中学校校長(2).....	20
5-3 教頭(1).....	21
5-4 教頭(2).....	21
第6章 2017年度実施	23
6-1 小・中学校校長(1).....	23
6-2 小・中学校校長(2).....	23
6-3 小学校教頭(1).....	29
6-4 小学校教頭(2).....	30
6-5 高等学校教頭.....	30
第7章 2016年度実施	31
7-1 小・中学校校長.....	31
7-2 校長.....	31
7-3 教頭(1).....	31
7-4 教頭(2).....	32
第8章 2015年度実施	33
8-1 小・中学校校長(1).....	33
8-2 小・中学校校長(2).....	33
8-3 小学校教頭.....	34
8-4 中学校教頭.....	35
8-5 高等学校教頭(1).....	36
8-6 高等学校教頭(2).....	36
8-7 教頭(1).....	37
8-8 教頭(2).....	37
8-9 教頭(3).....	37
第9章 2014年度実施	40
9-1 高等学校校長.....	40
9-2 小学校教頭.....	40
9-3 中学校教頭.....	40
9-4 教頭.....	41
第10章 2013年度実施	42
10-1 小・中学校校長.....	42
10-2 小学校教頭.....	42
10-3 中学校教頭.....	43
10-4 教頭.....	43
第11章 2012年度実施	44
11-1 小学校教頭(1).....	44
11-2 小学校教頭(2).....	45
11-3 小学校教頭(3).....	45
11-4 小学校教頭(4).....	46
11-5 中学校教頭.....	46

2022年度実施選考試験向け

管理職教育法規

引用集

 沖縄教員塾

目 次

第0章 出題分析	3
第1章 日本国憲法	10
第2章 教育基本法	12
第3章 学校教育法	15
3-1 学校教育法	15
3-2 学校教育法施行令	24
3-3 学校教育法施行規則	26
第4章 学校保健安全法	33
4-1 学校保健安全法	33
4-2 学校保健安全法施行令	35
4-3 学校保健安全法施行規則	36
第5章 いじめ防止対策推進法	38
第6章 学校給食法・食育基本法	44
6-1 学校給食法	44
6-2 食育基本法	45
第7章 学校図書館法など	47
7-1 学校図書館法	47
7-2 学校図書館法附則第2項の学校の規模を定める政令	48
7-3 子どもの読書活動の推進に関する法律	48
7-4 文字・活字文化振興法	48
第8章 教育公務員特例法など	49
8-1 教育公務員特例法	49
8-2 地方公務員法	54
8-3 労働基準法	58
8-4 労働安全衛生法	58
8-5 労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律	61
8-6 国家賠償法	61
8-7 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法	61
8-8 教育職員免許法	62
第9章 地方教育行政の組織及び運営に関する法律	64

第10章 障害者の権利に関する条約・発達障害者支援法など	70
10-1 障害者の権利に関する条約	70
10-2 障害者基本法	72
10-3 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律	73
10-4 発達障害者支援法	74
10-5 特別支援学校への就学奨励に関する法律	76
10-6 沖縄県障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例	76
第11章 その他	78
11-1 児童福祉法	78
11-2 児童虐待の防止等に関する法律	78
11-3 子どもの貧困対策の推進に関する法律	79
11-4 社会教育法	80
11-5 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	81
11-6 個人情報保護に関する法律	81
11-7 沖縄県個人情報保護条例	81
11-8 スポーツ基本法	81
11-9 沖縄県青少年保護育成条例	82
11-10 男女共同参画社会基本法	82
11-11 テクニック	83

⑩は、2016年度実施管理職選考試験で出題された条文などを表しています。

ゴシックと**太下線部**は、過去1回出題された箇所である(法令名含む)。

ゴシック囲みは、過去2回出題された箇所である(法令名含む)。

ゴシック二重囲みは、過去3回以上出題された箇所である(法令名含む)。

波線は、正誤の設問で出題された条文である。

太波線は、正誤の設問で過去2回出題された条文である。

第0章 出題分析

斜体字は法令名を解答させる設問での出題。**囲み**は正誤の設問での出題。13年間で出題がなく、分析に小計「0」として掲載されている条文は、教員選考試験・教職教養で出題され、教頭昇任試験でも出題可能性があるものである。

法令名	計	条番号	小計	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度	17 年度	16 年度	15 年度	14 年度	13 年度	12 年度	11 年度	10 年度	09 年度	
日本国憲法	10	前文	0														
		第13条	0														
		第23条	0														
		第25条	0														
		第26条	10				1 /		1 /	1 /	1 /		1 /	1 /			
		第99条	0														
教育基本法	127	前文	4		2											1 /	
		第1条	9		1	2				2		2	1 /				
		第2条	31	5		1	2 1	2			2	2	10				6
		第3条	7		1	1	1			2					1 /		
		第4条	12	2	2	1		2	1		2	2					1 /
		第5条	6	3						1		2					
		第6条	6				2 1				2				1		
		第9条	11		1	1			2	4					3		
		第10条	13		1	1	1	2	2	1 /		4					
		第11条	4					2			2						
		第12条	10	3	1	1	1		2			1 /					
		第13条	8		1	2					2				3		
		第14条	6	1	1		2		2								
		第15条	5	2			1	2									
		第16条	9	3	1	2										3	
		第17条	2	1											1		

第3章 教育基本法

3-1 管理職過去問題

2021年度実施管理職選考試験 | 大問一 5

5 次の各問いに答えよ。

(1) 教育基本法第2条の条文として誤っているものを一つ選び、記号で答えよ。 ⑤

- ア 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- イ 他国の伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と経済の発展に寄与する態度を養うこと。
- ウ 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- エ 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- オ 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

(2) 教育基本法の条文として誤っているものを一つ選び、記号で答えよ。 ⑥

- ア 国及び地方公共団体は、能力があるにもかかわらず、経済的理由によって修学が困難な者に対して、奨学の措置を講じなければならない。
- イ 義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるものとする。
- ウ 国及び地方公共団体は、障害のある者が、その障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるよう、教育上必要な支援を講じなければならない。
- エ 国又は地方公共団体の設置する学校における義務教育については、授業料を徴収しない。
- オ 国及び地方公共団体は、義務教育の費用を負担し、その水準を確保するため、適切な役割分担及び相互の協力の下、その実施に責任を負う。